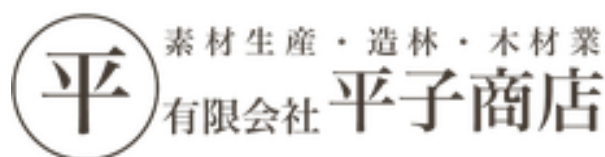

有限会社平子商店

CSR レポート

平成 28 年度版



はじめに

(有) 平子商店は、森と共にその歴史を重ねてきた会社です。
自然の恵みに感謝しつつ、今日まで仕事を行ってきました。

森林は木材の生産という経済的な価値を持つだけでなく、きれいな水、きれいな空気をつくる私たちが生きていく上で不可欠なかけがえのない財産です。近年では、地球温暖化防止や災害防止の役割においても森林の働きが重視されています。

(有) 平子商店は本業を通じて森林の整備を進め、木材の有効活用を図り、このかけがえのない森林をより良い環境で次の時代に繋いでいくことに真剣に取り組んでいます。

それに加えて、より多くの人たちが森林について関心を深め、森林を大切にする気持ちや行動を高めていただけるように当社の経験や技能を生かし、市民による森づくり活動のサポートや、若者向けの林業の現場視察ツアーなどに取り組んでいきます。それが当社として社会に貢献できるもう一つの取組みだと考え、当社の CSR 活動として力を入れていきます。

この取り組みが当社の発展だけでなく、いわき市の森林や林業の発展、ひいては豊かな森林を次世代につないでいけることを願い地道に活動を行ってまいります。

会 社 概 要

名称	有限会社 平子商店
創業	昭和63年 (前身となる木材店は、大正時代に創業)
資本金	500万円
代表取締役社長	平子 作磨
社 員	14名
事 業	<ul style="list-style-type: none">・ 国有林整備事業 国有林等の立木の伐出・ 造林作業・素材生産事業 木材の加工・ 森林整備事業 福島県森林環境基金関連事業、松くい虫防除等・ 人材育成事業 林業機械操作技術習得、年次研修強化で林業従事のプロを養成・ 社会貢献活動 森林ボランティア団体支援、いわき林業女子会サポート
住所	〒972-0251 福島県いわき市遠野町入遠野字白鳥132

若者たちに森林の現状や林業について伝える

プロと行う森づくりボランティア活動の実施

◇開催日：2016年5月15日（土） ◇参加者：若者9名

①作業＝プロの技見学、枝打ち、ツルきり ② 講話＝林業の仕事内容、魅力について

「第1回プロと行う森林ボランティア活動」を開催いたしました。まずは自己紹介をしてとても和やかな雰囲気スタートしました。そして午前中は森の中に入って実際に当社の社員がチェーンソーを使った伐倒や玉切り、芝刈り機での草刈り作業を行い、プロの技を見てもらいました。



これまで見たことのない機械を使った木の伐採を間近にみて、木の倒し方や使用する道具にとっても興味を持ってくださいました。その後は参加者の皆さんものこぎりを使って、枝打ち作業を実際に体験してみたり、かまを使って草刈りも挑戦していただきました。

午後からは社長が講話を行いました。実際の林業、平子商店の歴史、これからの林業について社長にお話しをさせていただきました。林業に対するイメージについて若者たちに考えてもらい、意見交換も行いました。若い人たちは熱心に話を聞いたり、積極的に質問をしたりと、林業についてもっと知りたいという気持ちが伝わってきて私たちもうれしくなりました。

【参加者の感想】

自分たちの暮らしとはほど遠いように感じていた林業、しかし実際は私たちの日々の生活を支えてくれているお仕事で、実際に見たりお話を聞いたりしてみるととても興味深い世界でした。

貴重な時間を使って林業の魅力を教えて下さった平子商店の皆さん、ありがとうございました。

人生で初めて林業に関わった一日だったのですが、木が倒れた時のものすごい音と、木が地面に倒れた時の周りの土や、埃が舞った時の迫力に圧倒されたのをしっかり覚えています！

林業の話はとても興味深くて、特に人の手を加えて山を良くするというお話にとっても考えさせられました。貴重な体験が出来た素晴らしい一日でした！

(20代 男性)



若者と森林、林業について語る会の実施

◇開催日：2016年7月2日（土） ◇参加者：11名

7月2日(土)に栃木県の学生・若手社会人を参加者として主に平子商店の事業について、東日本大震災発生当初・その後の支援活動について、震災・原発の林業への影響について平子社長がお話をさせていただきました。

特に平子商店の成り立ちから現在に至るまでの歴史や事業の変化について関心を持っていただいたのでそのあたりのことを中心にお話をさせていただきました。また、若者達から今後の林業に対して若者に期待することは何かという質問があったので、「若い従業員たちが以前までの林業のイメージを払拭し、ポジティブな印象を持って仕事に取り組んでくれている。ボランティアで活動に参加してくれる皆さんにもそういう意識を持って活動に取り組んでほしい」と話し、若い人たちへの期待を伝えました。

また、東日本大震災当初の支援活動についての話もさせていただきました。当社が保有する重機を使っているのがれきや障害物の撤去、生存者の捜索活動など、精神的にダメージを受けそうなものが多かったが、従業員のみなさんは自分たちにしかできない仕事ということで、強い責任感を持って取り組んでいたという当時の話をいたしました。

そのお話を聞いて地元いわきの遠野出身で現在は宇都宮市の大学へ通う参加者は「地元に住んでいながら震災当初にそのような形で活動を行っていたことは知らなかった。私も何かあったときに微力でもいいので、地域のために動けるように備えていきたい。」という感想を述べてくれました。

森林ボランティア活動や地域活動に参加する若者たちにとってこれからの活動につながる話ができたらうれしいと思います。

【 参加者の感想 】

お話を聞く前は、林業に対してぼんやりとしたイメージしか持っていなかったのですが、より具体的なイメージを持ち、林業を身近なものとしてとらえることができました。また、林業の大切さについても理解が深まりました。



林業の現場視察ツアーの実施

◇開催日：2016年11月26日（土） ◇参加者：8名

11月26日（土）に若者を対象とした現場視察ツアーを開催致しました。今回は福島県内外から8名の方にお越しいただきました。事業所周辺の作業現場に実際に足を運び、現場の作業や使用している機械について説明を行いながら、作業の様子を見学していただきました。

現場視察が始まる前の参加者のみなさんの林業に対するイメージは「チェーンソーやのこぎりを使って木を切り倒し、重機を使って切った木を運ぶ」というものでした。

しかし、実際の現場では重機を使用しての作業が中心となります。木を切り進めていくため、搬出する際に必要な道づくりを行う機械（ハーベスタ）、木を均等な長さに切りそろえる機械（プロセッサ）、主要な機能の他に刃が内蔵されていて、伐倒、集積作業も行える機械（フェラーバンチャ）、など様々種類の重機を駆使して、一連の作業を行っています。

「機械の中には経験を積んだ人しか動かせないものもある、誰でも動かせるわけではない」と専務から話があったように、重機を使って作業を行うためには、のこぎりやチェーンソーを使った人力での作業など、一連の作業を行えるようになり、経験を積み、資格を所持した人でなければ動かすことができないものも存在します。参加者のみなさんがイメージしていた林業の世界と比べ、機械化が進み、より効率の取れた作業を行っているのが、現在の林業の姿です。弊社では約20台の重機を所持しており、昨年度も新たな重機を取り入れるなど、先を見据えて活動に取り組んでいます。



現場視察終了後は、専務から現在の取り組みについてお話をさせていただきました。特に参加者のみなさんが興味を持って聞き入っていた内容が「緑の雇用」についてです。「緑の雇用」とは、林業での若手の雇用確保を目的として国が行っている取り組みで、3年間の給与の補助や資格取得の為の補助を行い、事業所で現場経験を積み、人材を育成していくというものです。平子商店さんはその制度を活用し、数年前から若手を積極的に雇用しています。ベテランのスタッフさんが多いと思っていた参加者の方は、「年齢の近いスタッフさんもいるということを知り、更に林業についての興味が増した」と話していました。他にも震災直後から現在の活動に至るまでの経緯や伐採した木の行き先など、なかなか聞くことのできない話に参加者の皆さんもとても熱心に耳を傾けて下さいました。林業に対するイメージが、こうして実際に作業現場に足を運び、自分の目で見る事が出来たことで少し身近なものになったのではないかと思います。

いわきの林業を、若い女性の感性と行動で盛り上げる

いわき林業女子会（きこりーな・いわき）への支援

林業のイメージを明るく、元気なものに変えていけるように女子が中心になって活動する「林業女子会」が全国的に広がっています。いわき市内で活動する若い女性たちから、いわき市でも林業女子会を立ち上げたいという相談を受け、当社が協賛企業としてサポートすることといたしました。

【 いわき林業女子会（きこりーな・いわき） 趣旨 】

林業の低迷などにより全国的に森林に元気がありません。

特に福島の森林は原発事故の影響も様々あり困難な状況にあります。

そんないまこそ、女子の力を森林へ、林業へ。女子の感性、女子の視点、女子の行動力で、新しい方法で、いわきの林業、森林を応援していきましょう。

設立：2016年 8月

- ・森が好き、自然が好きな女子
 - ・木が好き、木の道具や家具が好きな女子
 - ・森に何らかのかかわりがある女子
- が集まり、活動します。

【 活動内容 】

- ・女子による、森林ボランティア活動の実施
- ・女子による、森の体験イベントの実施
- ・女子による、木工クラフト教室の実施
- ・その他女子のアイデアによる森の応援プロジェクト

会議の様子



第1回活動 森のヨガ&ヘルシーランチ



林業の現場の今を、生の声を発信する

ホームページ、Facebook での情報発信

平成 28 年 7 月に弊社のホームページを開設しました。このホームページは会社の PR だけでなく、林業の魅力やそこで働く人たちの想いや様子を知ることができるように考え作成しました。ですので、コンテンツの中に社員のインタビューを載せています。社員に協力してもらい一人一人インタビューを行い、編集することなくそのままの声を載せました。

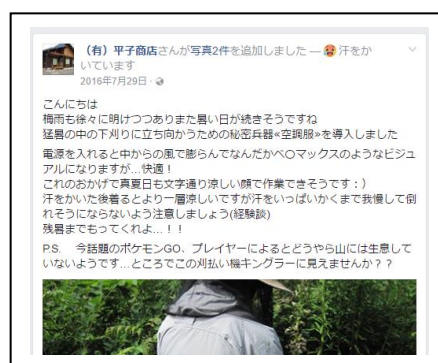
弊社には比較的若い社員が多いので、若い人たちが林業の仕事をどのように考え、どんなことがやりがいになっていて、どんなことは大変なのかを林業に興味がある若い人たちに知ってもらえたらと思っています。それにより、林業に関心を深め、林業をやってみようという人が増えることを願っています。

□ ホームページ



また、フェイスブックも開設し、タイムリーな情報を発信できるように体制を整え中です。SNS を通じて気軽なコミュニケーションもうまれることを期待しています。次年度さらに力を入れて取り組んでいきます。

□ 有限会社平子商店 Facebook (フェイスブック) ページ





有限会社平子商店

〒972-0251 福島県いわき市遠野町入遠野字白鳥132

電話 : 0246-89-2066

E-mail : maruhei2066@gmail.com

URL : <https://www.hirako-shoten.co.jp/>